

バイオバンクWG

がん全ゲノム解析等連絡調整会議	資料
令和2年9月25日	3-2

- 既存検体の精査
- 検体の品質管理
- 検体送付ロジスティクスの確定
- 臨床情報収集項目の決定/システムの確立
- 検体シーケンスの進捗管理
- 前向き検体収集/保存ロジスティクスの確立

バイオバンクWGメンバー

◎ 間野博行、秋山靖人、石川俊平、織田克利、鈕持広知
土原一哉、南谷泰仁、野田哲生、松田浩一、三森功士、武藤学
谷田部恭、谷内田真一

現在までの進捗-1

1 バイオバンクの現状調査

東京大学、京都大学、がん研有明病院、国立がん研究センター、静岡がんセンターにおいて、ペア正常部とともに保存されている腫瘍部凍結検体総数。網羅的遺伝子解析の可否、解析結果の公的データベースへの登録、企業利活用の可否、等のIRB承認は各施設によって異なる

罹患数の多いがん	55,331
乳房	8,645
肺・気管	14,672
食道	1,813
胃	4,178
大腸	9,187
肝および肝内胆管	3,513
胆嚢・胆道、膵臓	2,347
子宮、卵巣	6,424
前立腺、膀胱、腎・尿路	1,795
悪性リンパ腫	1,095
白血病	1,662

希少がん(部位別) (小児がんを含む)	6,817
脳	383
眼科	144
頭頸部	2,033
骨軟部	3,895
皮膚	148
心血管	1
その他	213
遺伝性のがん	1,790
遺伝性腫瘍症候群あるいはそれが疑われる発端者	1,482
上記の血縁者	308

現在までの進捗-2

2 臨床情報収集項目の確定

固形腫瘍

- 8月17日：臨床情報 v1を作成し、バイオバンクWGメンバーで審議 → 改訂指摘を受理
- 8月17日：臨床情報 v1を製薬協に審議していただき、8月31日に検討結果を受理

造血器腫瘍

- 造血器腫瘍臨床情報検討サブWGを組織：
南谷泰仁（サブWG長）、伊豆津宏二、石川裕一、加藤元博
鈴木達也、竹内賢吾、前田高宏
- 9月13日に造血器腫瘍臨床情報収集項目案v1受理

収集臨床情報

患者基本情報

患者ID
既往歴
併存疾患
検査
がん種

検体①ID
検体採取日
採取部位
検体種別：腫瘍部、正常部

検体②ID
検体採取日
採取部位
検体種別：腫瘍部、正常部

1st line 治療

治療期間
治療法：薬物療法、手術、放射線療法
詳細情報
最良治療効果、転帰情報
G3以上の副作用
等

2nd line 治療

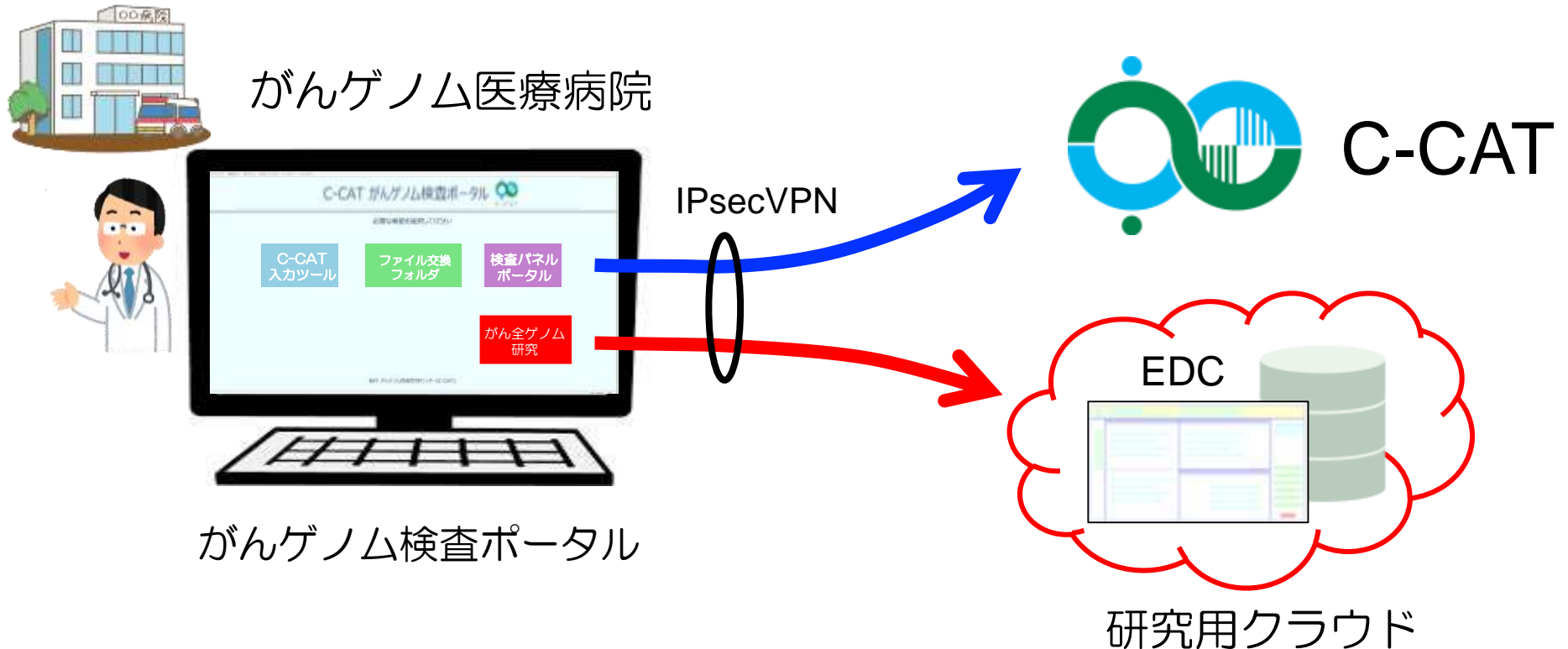
治療期間
治療法：薬物療法、手術、放射線療法
詳細情報
最良治療効果、転帰情報
G3以上の副作用
等

3rd line 治療

治療期間
治療法：薬物療法、手術、放射線療法
詳細情報
最良治療効果、転帰情報
G3以上の副作用
等

臨床情報収集システム

がんゲノム検査ポータルを用いた臨床情報収集システム案



EDC開発ベンダー6社とヒアリング（8月18日～9月4日）

検体・データ収集・利活用体制（案）

